

私立高校が起業家教育に力を入れる背景について、幼児や小学生を対象にした塾を経営し、子どももの自立を支援する「花まる学習会」の高濱正伸代表(60)に聞いた。

起業にはアイデアと行動力が求められます。発想し、仲間を引きつけ、やり遂げる力を身につけなければいけません。大学進学前の高校生が起業家教育を受け、早い段階で社会の仕組みを知るメリットは大きいと思います。

好きなことに取り組むときの子どももの情熱と吸収力は目を見張るものがあります。関心が高い分野なら、主体的に学ぶ力を発揮できるのです。起業家教育が実を結ぶためには、自分の頭で考えるプログラムが必要になるでしょう。

バブル崩壊後に経済が長期間停滞し、平成は「失われた30年」と言われます。デジタル化が一気に進み、偏差値の高い大学に進学して有名企業に就職する道が、安定を保障してくれる時代ではなくなりました。

私立高校はそうした変化に敏感に気づいています。少子化が進む危機感もあるでしょう。社会が多様化する中で、起業家教育を始める学校は増えていくと思います。

## 早く社会の仕組み知る利点

POINT!

